

# APL 初発・進行期

## APL97 consolidation 1

患者ID : @PATIENTID

コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME

1コース : 21日～

目標 : 1コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤 : ミトキサントロン (MIT) : ミトキサントロン注 10mg/V/5mL  
シタラビン (Ara-C) : シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

※ APL97 Inductionで寛解を確認した後、出来るだけ早期に開始。

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
ミトキサントロン	7 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~3
シタラビン	200 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日(Day1) ; 1月1日 (金) ~ 1月3日 (日)

PICC① PICC②

0時00分	①	生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	+	グランセトロン 1 A
0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	+	ミトキサントロン注 0mg
0時45分	③	生理食塩液 50mL フラッシュ		
1時00分	④	生理食塩液 500mL 24時間で点滴静注	+	シタラビン注 0mg 0.0ml

Day 4~5	1月4日 (月) ~ 1月5日 (火)
0時45分	① 生理食塩液 50mL 15分で点滴静注
1時00分	② 生理食塩液 500mL 24時間で点滴静注

Day 6	1月6日 (水)
1時00分	① 生理食塩液 50mL フラッシュ

### REFERENCE

Norio Asou, Yuji Kishimoto, Hitoshi Kiyoi, et al BLOOD 2007; 110: 59-66

A randomized study with or without intensified maintenance chemotherapy in patients with acute promyelocytic leukemia who have become negative for PML-RAR $\alpha$  transcript after consolidation therapy: The Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG) APL97 study  
2011年化学療法プロトコール審査委員会承認: 2011年5月9日 更新: 2016年2月8日